

SF 第 3 戦九州大会（オートポリス）に挑む Juju の気迫。

HAZAMA ANDO Triple Tree Racing（以下、チーム）は、2026 年 4 月 25 日（土）・26 日（日）に大分県オートポリスで開催される全日本スーパーフォーミュラ選手権（以下、SF）第 3 戦に参戦いたします。



結成 2 年目を迎えたチームは、4 月 4 日（土）、4 月 5 日（日）にモビリティリゾートもてぎで開催された 2026 年 SF 第 1 戦&第 2 戦に参戦いたしました。10 号車をドライブする Juju は、悪天候の中で開催された第 1 戦では視界の悪い中、途中、セーフティーカーからの 2 度の再スタートで 2 度ともレース再開直後に 2 台をパスするという、周囲を驚かせる攻撃的なアタックを見せました。残念ながら 2 度目のリスタートでは、さらに前車を捕えようとした際に目前にコースアウトしてきた車両を避けるためにスピン、リタイアと不運な結果に終わりました。雨の中で Juju が見せたアグレッシブな走りは野田英樹監督も納得する、Juju の成長を感じさせるレースでした。

Triple Tree Racing



続く第2戦では、ハンドリングのトラブルを抱えながらも最後まで粘り強い走りを見せ、チームも素早いピットワークでそれを支えました。しかし最終結果は満足できるものではなく、チームは第3戦に向けてマシンの問題点を洗い出し、それに対する万全の対策を施すべく、短いインターパルの間に努力を続けています。

九州大会の舞台となるオートポリスは、開幕戦の舞台となったモビリティリゾートもてぎとは全く異なったタイプのサーキットです。標高差も大きく、テクニカルなコーナーが連続するヨーロッパタイプの難しいレイアウトであり、このサーキットではまだ2度しかレース経験のない Juju ですが、自信を持って挑んでくれるはずです。チームの成長ぶりを実感している Juju は、自らが納得できる攻めのレースを展開してくれることでしょう。



◆ドライバー Juju のコメント

「もてぎでは、予選で悔しい思いをしたので、絶対に巻き返すという意気込みで土曜日の第1戦に臨みました。赤旗中断後のレースでは、セーフティーカーあけの再スタートで2台のマシンをパス。前方のクラッシュを避けるためにポジションを落としたのは不運でしたが、さらに次のリスタートでも2台をパスすることができました。日曜日の第2戦はセットアップを外してしまい、我慢のレースになってしまいましたが、ピット作業は素晴らしく、チームの成長ぶりを実感しました。オートポリスまでにマシンのセットアップの課

Triple Tree Racing





題はきっと解決されていると信じていますので、思い切った攻めの走りを心掛けたいと思います。応援よろしくお願いします」

◆監督 野田英樹のコメント

「もてぎ大会では、予選での一発の速さを見せられるだけのセットアップを見いだせてはいませんでした。決勝では第1戦も第2戦も、いろいろな意味でドライバーもチームもその成長ぶりを感じさせてくれたので、結果以上に得たものは大きかったと思っています。ロングランでの手応えはあったので、予選でのマシンの問題点を洗い出し、それを解決できていれば、オートポリスでの戦いは、監督として自分自身が納得できる結果が出せることと信じています」

◆代表 村司宏樹のコメント

「もてぎが終わってから日に日に悔しいという気持ちが強くなってきています。チームとして反省すべき点はしっかりと省みた上で、気持ちを切り替えて九州大会に臨みます。応援してくださる皆様には、結果でお応えしたいと思っております。皆様、引き続き応援よろしくお願いします」

◆本件に関する問い合わせ先◆

Triple Tree Racing チーム代表 村司宏樹

e-mail: muraji@3tree.jp / mobile :080-3624-3989



Triple Tree Racing

